

2019(平成31)年1月24日

関係 各位

きょうされん栃木支部  
支部長 横松 晃(公印略)

## きょうされん40周年記念映画「夜明け前」試写会のご案内

日頃より障害福祉の推進へのご理解とご協力に深く敬意を表します。

さて、このことについて、2019(平成31)年3月16日(土)にとちぎ福祉プラザ研修室1において、きょうされん40周年記念映画「夜明け前」試写会を開催いたします。

このドキュメンタリー映画は、今から100年前に精神病に有効な治療法がなかった時代に、座敷牢に幽閉された精神病患者を救おうとして奔走した呉秀三(東京大学医学部精神科教授)の報告書『精神病患者私宅監置ノ実況及ビ其統計的観察』(1918年)を記念し、精神保健の専門家組織である公益財団法人 日本精神衛生会と、障害者福祉の土台を支えて40周年を迎えるきょうされん(旧:共同作業所全国連絡会)が提携して製作したものです。

古い時代から現在に至るまで、精神病は誤解と偏見、差別の対象となり、この病を持つ人々と家族は苦しみと犠牲を強いられています。2017年12月の「寝屋川監禁死亡事件」、2018年4月の「兵庫県三田市監禁事件」の報道は、多くの人に衝撃を与え、このような事例はまだ少なからず存在しています。

今回試写会を契機に、県内の福祉関係団体や行政が日本における精神障害に対する理解を深め、障害の有無にかかわらず誰でもが当たり前で生き暮らせる社会を実現する一歩にしたいと考えています。

つきましては、ご多忙とは存じますが、多くの団体にご来場くださいますようお願い申し上げます。なお、試写会開催に当たり、各団体等の交流の場も企画しておりますので、出欠の有無をお知らせください。

【日時】 2019(平成31)年3月16日(土) 午後1時～3時

【会場】 とちぎ福祉プラザ第1研修室

【参加費】 無料

【定員】 60名

【内容】 ◇ドキュメンタリー映画『夜明け前』 呉秀三と無名精神障害者の100年  
◇団体紹介

【備考】 この映画の予告版は「きょうされんのホームページ」でご覧になれます。

会のHP等と拡散したいので  
助かります。

きょうされん栃木支部(担当 渡部)  
〒328-0003 栃木市大光寺町 348-1  
あいの家事業所内  
TEL 0282-21-8904  
FAX 0282-21-9805

# 夜明け前

呉秀三と無名の精神障害者の100年



我が国十何万の精神病者は実にこの病を受けたるの不幸の外に、この国に生まれたるの不幸を重ねるものというべし。精神病者の救済・保護は実に人道問題にして、我が国目下の急務と謂はざるべからず。 呉秀三

今井友樹監督作品

ナレーション 竹下景子

企画 藤井克徳 / 監修 広瀬徹也  
プロデューサー 中橋真紀人 / 撮影 小原信之 / 編集 古賀陽一  
協力 一般社団法人 障害者映像文化研究所 / バリアフリー版制作 Palabra株式会社  
製作協力 株式会社 工房ギャレット  
製作 記念映画製作委員会 公益財団法人 日本精神衛生会 / きょうされん / 有限会社 イメージ・サテライト  
ドキュメンタリー / 2018年 / 66分 / BD

# 心を病んだ人々は、なぜ閉じ込められなければならないのか？ 精神の病とは…、人間の尊厳とは…、いま突きつけられる問いかけ！



松沢病院の呉秀三胸像

呉秀三(くれしゅうぞう)は、今から百年前の時代に東京大学医学部精神科の教授として、異例の社会的な取り組みを進めた先達者である。彼は精神疾患の人々が「座敷牢」に押し込まれる実情を憂い、その解決のために奔走した。その土台となった報告書『精神病患者私宅監置ノ実況及ビ其統計的観察』を1918年に提起し、多方面へ働きかけた。それから1世紀の年月が過ぎた今、精神障害者の問題はどのようなのだろうか？

精神障害者をめぐる問題は一つの国の在り方を左右する重大なものであり、欧米でも改革が進められている。何故なら、

人口の1%プラスアルファが精神疾患を発症するという前提のもと、全ての国民が理解と対処を迫られているからである。

しかし、古い時代から現在に至るまで、精神病は誤解と偏見、差別の対象となり、この病を持つ人々と家族は苦しみと犠牲を強いられている。2017年12月の「寝屋川市監禁死亡事件」、2018年4月の「兵庫県三田市監禁事件」の報道は、多くの人々に衝撃を与えた。しかし、このような事例はまだ少なからず存在すると関係者は指摘する。こうしたタイミングで、この課題に一貫して取り組んできた精神医療保健の専門家組織である公益財団法人 日本精神衛生会と、障害者福祉の土台を支えて40周年を迎える きょうされん(旧称：共同作業所全国連絡会)が提携して製作したのが本作である。

長編第1作『鳥の道を越えて』で高い評価を得た今井友樹監督(工房ギャレット代表)が、先輩である小原信之カメラマン(民俗文化映像研究所代表)とタッグを組み、2003年の記録映画の最優秀作として注目を集めた夜間中学の



資料館の「拘束具」

記録映画『こんばんは』(毎日映画コンクール記録文化映画賞/文化庁映画大賞)の編集を担った古賀陽一編集マンを迎え、その『こんばんは』、重度重複障害児を育てる家族を描いたアニメ『どんぐりの家』(きょうされん20周年/山本おさむ原作・脚本)や、精神障害者の社会復帰を描く劇映画『ふるさとをください』(きょうされん30周年/脚本：ジュームス三木)で指揮をとった中橋真紀人プロデューサー(イメー ジ・サテライト代表)のもとでパッションとパワーを注いだ。

呉秀三研究の第一人者・岡田靖雄先生(精神科医療史研究室代表/元・松沢病院医師)、「座敷牢」問題の調査研究を続ける橋本明先生(愛知県立大学教授)、日本の精神科医療のトップに位置する都立松沢病院の齋藤正彦院長というキー・パーソンへのインタビューを軸に構成された本作品は、これまでの100年を見つめ直し、これからの100年を考える貴重な映像的素材と言えるだろう。

作品の中に登場する資料には、現存する2冊のみの「私宅監置」報告書(1冊は岡田先生の手元に、もう1冊は国会図書館!)、呉秀三の初めての著作の初版本、家族にあて欧州から送った絵葉書(既に所在不明!?)、秘蔵されていた数枚の写真(東大医学図書館に保管)などがある。日本で初公開!呉秀三の欧州留学先での足跡——彼が1900年前後に留学・視察したベルギーとオーストリア(ウィーン大学)に残されている「自筆の署名」を求めて海外ロケを敢行し、彼の下宿アパートもカメラに収めてきた。



海外ロケ(ウィーン)

## 今井友樹監督作品

### 勇気をもって前へ

立教大学教授 香山リカ  
いつの時代も、社会を前に進めるのは、ひとりの気づきとそれに触発された大勢の仲間たちです。いまも心の病を持つ人たちが正しく理解され、その人権が十分に守られているとはとても言えません。

しかし、彼らが私宅監置などのもつとひどい処遇をあたりまえに受けていた時代に、呉秀三はそのおかしさに気づき、病者に治療と福祉の光をあてようとしたのです。私も本作から多くを学び、勇気づけられました。

## 夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の100年

[ドキュメンタリー/2018年/66分]



今から100年前  
精神病に有効な  
治療法が無かった時代  
座敷牢に  
幽閉された精神病患者を  
救おうと奔走した  
一人の男がいた

## 夜明け前

呉秀三と無名の精神障害者の100年

### 夜明けを迎える一助として

きょうされん専務理事 藤井克徳  
「呉秀三を正確に知ってほしい」一本映画企画の最大の動機です。あの「座敷牢調査」から100周年という節目の力を借りて伝えたいのです。呉秀三の言動が現代日本にして何ら色あせることなく、そっくり今に通用しており、「この国に生まれた不幸」は、見方によっては当時よりも真に迫っているのではないのでしょうか。呉秀三の言動が名実ともに古めかしく感じられる社会をどう作っていくか、障害当事者や家族の一人ひとりが本当の夜明けをいかに実感できるか、本映画がその一助になることを願っています。

(日本精神衛生会理事)

## 100年の時空を超えた人権の問いかけに、どのように応えるのか？

### 2019年3月16日(土) 特別試写会 とちぎ福祉プラザ研修室1

(上映13:30~ 会場30分前より)

(宇都宮市若草1-10-6)

◇主催 きょうされん栃木支部

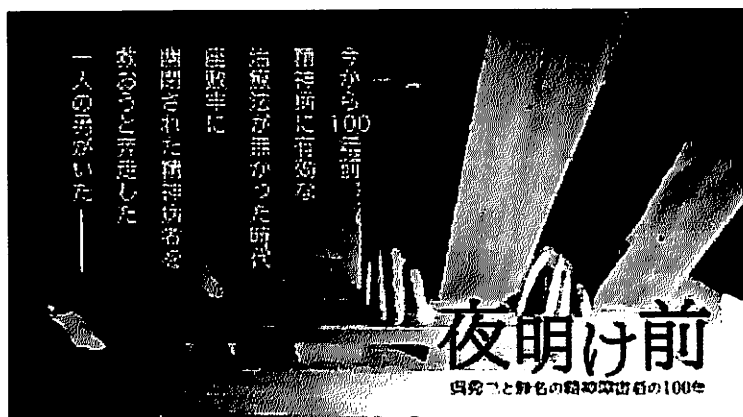
◇連絡先 社会福祉法人なすびの里 あいのいえ事業所内 TEL 0282-21-8904 (渡部)

△参加費 無料

# 記録映画「夜明け前-呉秀三と無名の精神障害者の100年」 貸出しのご案内

古い時代から現在に至るまで、精神病は誤解と偏見、差別の対象となり、この病を持つ人々と家族は苦しみと犠牲を強いられています。2017年12月の「寝屋川監禁死亡事件」、2018年4月の「兵庫県三田市監禁事件」の報道は、多くの人に衝撃を与え、このような事例はまだ少なからず存在していることが明らかになりました。

呉秀三(くれしゅうぞう)は、今から百年前に東京大学医学部精神科教授として、異例の社会的な取り組みを進めた先達者です。彼は精神疾患の人々が「座敷牢」に押し込まれる実情を憂い、その解決のために奔走しました。その土台となった報告書『精神病者私宅監置ノ実況及び其統計的観察』を1918年に提起し、多方面に働きかけました。それから100年の年月が過ぎた今、精神障害者の問題はどうなっているのでしょうか？



この時期に、一貫してこの課題に取り組んできた精神保健の専門家組織である公益財団法人日本精神衛生会と、障害者福祉の土台を支えて40周年を迎えるきょうされん(旧:共同作業所全国連絡会)が提携してドキュメンタリー映画を製作しました。

## TEL/FAX/メールでお申し込みを受け付けています。

- 貸出料金 6万円(税・送料込み、但し、料金設定は支部との話し合いが可能)。きょうされんと共催の場合は1万円
- 貸出期間 7日間
- 支払方法 郵便振込
- 送付方法 宅配便で送付(送付料はご負担ください)
- 問合せ先 きょうされん栃木支部(担当 渡部)

〒328-0003 栃木市大光寺町 348-1 あいのいえ事業所内  
TEL 0282-21-8904 FAX 0282-21-8905